

子育て支援者養成講座

NPO 法人 ファミリーステーション Rin

〒470-0134 愛知県日進市香久山 1-601 Chip in 香久山 203 号

助成事業の概要

子育て世帯の多い日進市で、子育て家庭の現状を理解した上で、地域の子育て家庭を「見守り、寄り添い、支える活動をしていただく人材育成」のために、子育て支援者養成講座を開催した。()内は参加者数

【基礎講座】 2023 年 5 月～ 6 月開催：全 8 講座

- 5/30 保育原理／生活と遊び…名古屋学芸大学教授 渡辺桜 氏 (16 名)
- 5/30 子育て家庭の現状と家庭福祉… (特非) 子育て支援を考える会 TOKOTOKO 理事長 坂 鏡子氏 (14 名)
- 6/6 実践スキルアップ&交流会… 名古屋学芸大学 教授 渡辺 桜氏 (23 名)
- 6/6 小児保健…プライムツリーこどもクリニック清水 恵子 氏 (21 名)
- 6/6 子どもの発達と関わり… 日進市 保健師 三好 明子氏 (19 名)
- 6/19 配慮が必要なお子さんへの対応… 子ども発達支援センター長 熊谷 豊氏 (24 名)
- 6/19 小児幼児救命講習…日進市消防署員 (10 名)
- 6/23 子どもの食事と栄養…日進市 栄養士 出雲 絵梨奈氏 (18 名)

【専門講座：訪問支援者養成講座】

- 10/7 訪問支援事業の必要性・有効性 愛知県立大学 教授 神谷 摂子 氏 (7 名)

- 10/7 産前産後の母親の身体と育児について… プライムツリーこどもクリニック清水 恵子 氏 (7 名)
- 10/14職業倫理と配慮事項 / 対人援助の価値と倫理…社会福祉士 牛田由美子 氏 (8 名)
- 10/14母子ケアの重要性と効果… 助産師 衣川 友紀 氏 (7 名)
- 11/4 訪問時の心構え (子どもの世話) … 助産師 衣川 友紀 氏 (7 名)
- 11/4 子育て家庭の理解 / 支援事業 / 援助スキル 社会福祉士… 牛田 由美子 氏 (12 名)
- 11/18訪問時の心構え (関わり方のコツ) …訪問型サポート事業マネージャー (8 名)
- 11/18沐浴実習… 助産師 衣川 友紀 氏 (9 名)
- 12/2 実践スキルアップ (調理)&交流会… 管理栄養士 伊藤 日奈子氏 (12 名)
- 【スタッフ研修】
- 10/14職業倫理と配慮事項 / 対人援助の価値と倫理…社会福祉士 牛田由美子氏 (2 名)
- 11/4 子育て家庭の理解 / 支援事業 / 援助スキル… 社会福祉士 牛田由美子 (8 名)
- 3/10 人権研修…キャリアコーディネーター 金指 朋代氏 (20 名)

事業の成果

◇当講座は、地域の子育て支援者を育てるために、現在の子育て世代の状況や社会的背景を理解

し、支援者としての関わりを多方面から学ぶことのできる講座を実施している。講師は、日進市の子育て家庭に関わりのある小児科医、市の保健師や栄養士、助産師などをお願いした。

◇基礎講座は、子どもに関する基礎知識と保育原理や子育て家庭の現状を正しく理解することを目的に開催した。現代の子育て事情や育児方法の変化等も共有した。託児付き開催であったが、今年度は希望者がいなかった。

◇専門講座では、出産前後の母子ケアの重要性と訪問支援事業の必要性・有効性を学んだ上、ロールプレイングや実習、先輩支援者の経験談などを聞く機会を取り入れた実践的専門スキルを学んだ。

◇スタッフ向け人権研修では、キャリアコンサルタントを講師とし、お互いを尊重しながら事業を進めていくために相互理解を図るワークショップを開催し、活発な意見交換が行われた。

◇一次的な成果としては、基礎講座は救命講習を含む 49 名が受講して 1 科目から受講した。全科目修了者が 5 名、昨年の欠席科目を受講した修了者が 7 名 専門講座は、7 名の修了者があった。今後、地域の支援に関わる方が増えていくことに期待したい。修了者のためのスキルアップ講習と交流会を開催した。

◇二次的な成果としては、支援事業に携わり、孤立した子育て家庭への SOS に応えられる人材として、地域の中で子育て家庭を見守る人が増え、子育てしやすい温かい地域づくりの輪が広がったと考えられる。

◇当市は子育て家庭がまだまだ増え続けている。

一方、支援者側は就労や介護、子育てしながらの活動を続けている現状を鑑みると地域の子育て支援者はまだまだ不足している。

地域の理解者や子育ての輪をつなげていくために、支援者を育成するための「子育て支援者養成講座」を今後も継続していくことは必須と考えている。さらに近隣市町へも働きかけ、より多くの理解者や支援者を増やしていきたい。

成果の広報・公表

本養成講座の参加者募集のチラシを 1300 部作成し市民に周知をはかった。チラシには講座の意義や目的、講座の内容を案内するだけでなく、講座修了後の子育て支援活動についても案内した。参加者募集においては、市の広報誌や当団体の WEB なども活用し周知をはかった。

終了後は当団体の WEB や SNS を活用し、広く実施の状況を広報した。また、当法人が 7 月と 1 月に発行するニュースレターに「養成・研修事業報告」として、基礎講座、専門講座の実施状況について報告を行った。このニュースレターは、当法人の会員、協力者、関係団体などに郵送し、養成講座の必要性や支援者のすそ野を広げる活動に理解を得るように努めた。

さらに、年度末に法人の職員向けの人権研修を対面で行い、ほぼ全職員が受講することができた。日頃、別々の事業で働いていて話す機会が取れていなかった職員間でもゆっくり話す時間がとれ、互いの事業についての理解を深めることができた。養成講座の開催についても、それを通じ地域の方々の理解を得ていくことが、地域で子育てを支える環境づくりとなっていることの理解を職員間で共有することができたことは、今後この講座をさらに広めていくための原動力となったと考えている。

今後の展開

子育て家庭への訪問支援は、近年ますます必要とされており、支援者の養成は地域の課題でもある。現在の講座内容を充実していくと共に、日時が合わない学習者についてアーカイブ受講も部分的に検討していきたい。対人援助については、実技やロールプレイングなど個別なフォロー体制を実施する。

幼児小児救命講習は、定期的に受講を重ね緊急時の対応スキルを維持していきたい。また、子育て家庭の事故予防スキルとしても重要なため、参加者を広く募集して父母、祖父母など多くの方に受講してもらうよう開催したい。

昨年度から始まった修了者のためのスキルアップ研修と交流会は、支援の有無にかかわらず、継続的な学びと地域とのつながりを持つために今後も継続していく。

当市は子育て家庭がまだまだ増え続けている。また、支援者側も就労や介護、子育てしながらの活動を続けている現状から、地域の子育て支援者はまだまだ不足している。

今後も支援者を育成し、地域の理解者や子育ての輪をつなげていくため「子育て支援者養成講座」を継続していくことは、必須課題と考えている。さらに横展開し、近隣市町へも働きかけより多くの理解者や支援者を増やしていきたい。